

市内11校のPTA活動報告

生地小学校



就学時前検診 親学び研修会

石田小学校



教養講座「影絵講演」

宇奈月小学校



敷地内ピオトープ清掃活動

荻生小学校



広報紙編集会議

桜井小学校



カンナロード整備

たかせ小学校



資源回収事業

中央小学校



マジックショー

村椿小学校



単P活動報告会

若栗小学校



左義長事業

清明中学校



あいさつ運動風景

明峰中学校



あいさつ運動風景

編集後記

今年度は、コロナ禍が続いてなかなか活動できなかつたと思います。それでも、『子どもたちのために…』と親である私達は、『何か出来ないのか？出来る方法はないのか？』ギリギリまで頭を働かせて大変だったと思います。この経験は、決して無駄な時間ではなく、次年度の活動へ必ず繋がります。今年度の思いを込めて、最後の事業として黒部市PTA連絡協議会だより「絆」を発刊し、次年度へバトンタッチさせていただきます。皆様、一年間本当にお疲れ様でした。(黒部市P連 アドバイザー・丸山)

絆

黒部市PTA連絡協議会だより

黒部市PTA連絡協議会は、黒部市内11校の小中学校PTAで構成されております。家庭・学校及び社会における児童生徒の幸福な成長を図る為、保護者と学校が協力して健全なPTA活動を推進するため、市内各PTA相互の密接な連絡協議をすることを目的としております。

創刊号

令和4年3月発行

発行
黒部市PTA連絡協議会

印刷
共栄印刷株式会社



研修会



研修会(警察署)



あいさつ運動



親学び講座



市P連会議



会長研修



黒部市PTA連絡協議会
会長
古川 和幸

現在コロナ禍の中、子どもたちを取り巻く環境は日々変化しており、なかなか解決策が見いだせない状況が続いております。このような時代だからこそ、私達はPTA会員として、保護者としての存在が問われているように思います。しかし、なかなか「一つの答え」は見いだせません。

子どもたちそれぞれに個性があり、一人一人に合う接し方が必要だと思います。今一度、子どもたちと真剣に向き合い、将来の夢や方向性等を話し、コミュニケーションを取りあってみてはいかがでしょうか？子どもたちの夢や形を聞き、それに向かってどのような方法・将来性があるかを一緒に導くことが、「家族の絆」→心の共有財産の形成にも繋がると思います。

当会も、単位PTAとの連携、そして市教育委員会や学校との情報共有等を強固とし、「人との絆」や「地域との絆」そして「学校との絆」を深めることを目指し、子どもたちと真剣に向き合い、子どもたちの学校生活や、子どもから大人への心身の成長期における、人生の重要な財産・思い出づくりの一助となるよう努めて参ります。今後ともPTA活動にご協力・ご理解の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

市P連 事業報告 **黒部市教育委員会と市P連との懇談会** 令和3年11月9日(火)
 【参加者】 小中校単P会長、市P連役員(25名)、黒部市教育委員会 中教育長、関係者(6名)

市P連では、毎年黒部市教育委員会と昨今の活動内容や様々な課題、そして要望や意見交換等を行っております。今回の議論内容は、下記の通りです。

1. タブレット配布とICT教育について

- ①ICT支援の外部人材の取入れ
ICT機器の管理サポート業務を行い、教員への過剰な負担の軽減に繋げる(今後の動きについて)
 - 学習支援ソフトの導入・ドリル教材の取入れ・通信速度の向上(ネット環境の充実)
 - 自宅への持ち帰りの促進(ルーターの貸し出し等、自宅使用環境の改善)
- ②ネットトラブルから子どもたちを守る取り組み
学校ではタブレットの使用に関して子ども・保護者にルールの徹底を呼び掛ける
 - 用いるタブレットにはフィルタリングが施してある
 - 適宜アクセス状況をチェック管理している
 - いじめ問題にならないようにチャット機能の停止や、パスワードの変更を行う



2. 教職員の多忙化解消について

- ①部活動などの今後の計画について
国(スポーツ庁)指針により、部活動の指導は教員ではなく地域の指導者による活動にR5年度から移行する
 - 生徒にとってはより専門性の高い指導が受けられる
 - 教師にとっては部活動における負担が軽減され生徒指導や授業準備に時間を使うことができる
- ②少人数教育・外部人材の活用等
 - 少人数教育(小3,4→35人学級)を実施することで環境が良くなっている
 - スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の配置(小・中)
 - 専科教員の配置
英語2名、音楽3名、理科2名、まなびサポート1名中1学級支援講師1名
→ 今後も継続できるように市教委から県教委に働きかける



3. 学校統合計画について

- ①小学校統合計画
 - H24年度の学校再編計画に基づく→10年程経過しているため、再検討中
 - 人口減少・少子化により児童生徒数が減少→児童生徒数を一定に保つための再編計画
 - 地域の協力を得ながら課題を分析し再検討していく
- ②中学校統合後の課題や問題点
 - 両校共に500名規模になったが、スタート時期がコロナ禍で、非常事態における統合のため、課題はまだ十分明らかになっていない
 - スクールバスや定期券の補助等の課題→分析しながら再検討していく



4. 不登校生徒について

- 増加傾向にある→最重要課題として取り組んでいる
 - ・相談案内の配布
 - ・欠席の多い子どもの情報の集約(報告をまとめて市全体で考える)
 - ・生徒指導主事の研修会を行い指導力の向上を図る(いじめ問題)
 - ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを活用し、子どもと学校の架け橋をつくる
 - ・適応指導教室(ほっとスペースあゆみ)の情報共有(活動報告等)→小・中連携
 - ・タブレットの利活用で、学校と家庭をつなぐ
- 子どもの様子をチェックして対応し、SOSを出せる環境をつくる
- 大人と子どもの信頼関係を深める

5. その他

- コミュニティスクールについて ●食育について ●各行事の開催時期(運動会等)
- 通学路の安全確保(安全メール登録100%以上を目指す) ●老朽化設備の修繕等(トイレ洋式化・除草と剪定)

市P連 事業報告 **「親学び講座」研修活動** 令和3年7月31日(土)
 【参加者】 小中校単P会長等(25名)

「親学び講座」とは、家庭や地域で起こるかもしれない身近な事例について、保護者同士が話し合い、子どもへの関わり方について学びながら、自分も学べる事業です。今回は2つのテーマで、それぞれの世代についてグループ分けをしました。下記は、その時出た意見です。皆さんも一緒に考えてみましょう。



課題①〈小学校テーマ〉

小学生のA君は、最近朝の目覚めが悪いようです。家の人に毎朝、「Aちゃん、早く起きないと学校に遅れるよ。」とされています。Aちゃんは、とても眠そうであくびばかり。朝食も食べきれず、いつも時間切れ。急いで着替えて、慌てて出ていきます。そして学校でも、Aちゃんは元気がなく「あ〜あ」と大きな口を開けてばかり。

- (1) Aちゃんは、どうして朝の目覚めがわるいのでしょうか?(原因等)
 - 家にずっといるので体が疲れず眠れない。(コロナ原因)
 - 習い事で食事の時間が遅い。
 - 夜遅くまでタブレットや携帯でゲームや動画を見ている。(隠れてする場合も)
 - ゲームがオンライン。時間を友達と合わせる必要がある。
 - 親自身インターネット環境に悪気がない。認識の違い。
 - 精神的な原因
 - ・学校生活のストレス
 - ・SNSのコミュニケーション
 - ・学校に行きたがらない。学校に何か目的があればいい。(スポーツ、芸術)
 - ・気圧が低くなると精神状態が悪くなる。
 - ・成長とともに自覚が出てくると起きられるようになる。
 - ・親がケンカ。子どもが不安で眠れなくなることも。
- (2) 朝の目覚めがよくなるには、どんなことが出来ると思いますか?
 - よく寝ること
 - ・体を動かして活動量を増やす。登下校歩かせる。
 - ・夕方遊ぶ。
 - ・ゲームは夜禁止。朝のみOKにしている。
 - ・ゲームは約束の範囲内なら許可。
 - ・注意して止めないようならゲーム回収。
 - ・夜9時30分には寝るようにさせる。



課題②〈中学校テーマ〉

中学校3年生のB君は、最近少し口数が少なくなり、お母さんは心配でした。態度も反抗的でお母さんはどう対応していいかわからない時がありました。ある日、学校から帰ったB君は「ただいま」も言わずに、無言で自分の部屋に行ってしまいました。心配になったお母さんはドア越しに声をかけました。
 お母さん: ドンドン・・・「Bちゃん、どうしたの?」
 B君: 「うるさい! あっち行け」(ドンと壁にモノが当たる音がしました)
 お母さんはおろおろして、その場に立ちすくんでしまいました。その晩、お母さんはお父さんにB君の様子を話しました。

- (1) この状況のB君に何が起っていると考えられますか?
 - 進路 ●いつもリビングの住人 ●いつも部屋の住人 ●ちょっとしたことでイラつく年頃
- (2) お母さんはどう言葉かけをしますか?(お父さんの場合も)
 - ご飯と一緒に ●進路のアドバイス ●両親のどちらかのみ声掛けする。落ち着かせるようにする。
- (3) 子どもの対応で気を付けていることは何かありますか?
 - あまり干渉しない。 ●送迎時に少し話す。 ●子どもの方から話すのを待つ。 ●甘やかさない。甘えを待つ。
- (4) その他(テーマ以外で話し合ったこと)
 - スマートフォンを持つこと ●スポーツ大会参加について ●修学旅行について ●友達との交流